

トークセッション

<ヒロシマ・2017 連続講座>

年間予定 (2017/3/1 現在)

日にち (13:00~16:00)		テーマ (仮題)	お話しをお願いしている方	
第 18 回	2017 年 1/21 (土)	絵で伝えるヒロシマ	西村 繁男さん	『絵で読む広島原爆』(福音館)は広島原爆を考える基本的文献。【絵本作家】
第 19 回	2/4 (土)	思想としてのヒロシマ	浅井 基文さん	6年間の広島生活で考えたこと 【元・広島平和研究所所長】
第 20 回	2/18 (土)	被爆証言に向き合う ④	村山季美枝さん 山田 玲子さん	[お二人とも、広島で被爆。当時、村山さんは5歳、山田さんは11歳]
第 21 回	2/25 (土)	二度の「棄民」 …満州そして福島・浪江	山本 宗補さん	満蒙開拓に関わった方々などの写真集『戦後はまだ…』【フォトジャーナリスト】
* 第 21 回+ 4/22 (土) ~23 (日) 南信州ツアー= 山本さんの講座をふまえて満蒙開拓平和記念館(長野県阿智村)と平岡ダム(長野県天龍村)を訪ねます。				
第 22 回	3/4 (土)	東京大空襲	二瓶治代さん 榎本喜久治さん	3月10日=約10万人の死者の東京大空襲 【空襲体験者と運動事務局長】
* 第 22 回+ 日にち未定 フィールドワーク=東京大空襲 東京大空襲資料センターを含めて、東京大空襲の跡を歩きます。				
第 23 回	3/18 (土)	戦争をどう伝えるか①	渡辺 賢二さん	明治大学平和教育登戸研究所資料館が 目指すもの【明治大学登戸研究所】
* 第 23 回+ 日にち未定 フィールドワーク=登戸研究所 川崎市生田にある明治大学平和教育登戸研究所を訪ねます。				
第 24 回	4/15 (土)	日本・ドイツの空襲記憶	柳原 伸洋さん	日独の空襲記憶の比較と今後について 【ドイツ現代史・日独空襲研究】
第 25 回	5/13 (土)	習熟するべき日本国憲法	西川 重則さん	戦争は国会から始まるとして国会傍聴 18年【平和遺族会全国連絡会代表】
第 26 回	5/20 (土)	原爆と芸術表現	田中 勝さん	芸術表現を通してどう被爆の問題を訴えるか?【京都造形芸術大学准教授】
第 27 回	6/3 (土)	戦争をどう伝えるか②	都倉 武之さん	戦争体験をどう継承して行くのか? 【慶応義塾福澤研究センター准教授】
第 28 回	6/17 (土)	戦争をどう伝えるか③	栗原 俊雄さん	戦没者の遺骨はどうなっているのか? 【毎日新聞学芸部記者】
第 29 回	7/1 (土)	日本の核開発の歴史	山崎 正勝さん	核開発に日本はどう関わったのか? 【東京工業大学名誉教授】
* 第 30 回	7/15 (土)	核なき世界を創るために	秋葉 忠利さん	核のない世界をつくるために私たちが すべきことは何か?【元広島市長】
→ この第 30 回は他団体との共催として、駒込ではなく別会場になります。				
第 31 回				
第 32 回				
(日にち・講座の内容等の変更があるかもしれないことをご確認ください)				

<再録>

戦後日本の「平和主義」は常識の広がりをもったが、「原理」にはならなかった。
だから「時代の流れ」に弱い。

…「ベ平連=ベトナムに平和を！市民連合」を組織した小田実氏の「感慨」

「戦争と平和」の問題にさまざまな形で取り組んでいる方々においでいただき、その方たちの語り継ぐお話にきちんと向かい合うことで、東京から遠く離れた広島に思いを馳せ、「ヒロシマ」を受け取る時間にしてゆきたい。それは、「71年目の戦後」という年にあって、何を記憶として残すべきなのか？ 忘れてはならないこととは何か？ 何を明日に手渡していけばいいのか？ を考えることになるはず。

この取り組みを続けていくことで、いま早足で戦争準備を進めるこの国の新しい年 2016 年を、あらたな「戦前」とさせないためのささやかな糸口になり、そして同時に特に、若い人たちに何かが伝わっていく時間になるといい、とも思う。

……【講座を始める際の「呼びかけ」(=2016/1/3) から一部抜粋】

2016年1月に講座を始めた時には、月1回のつもりでいたのですが、途中から回数も増え、わざわざ広島や大阪などからの参加者もいて、回数として全体で17回。参加者の延べ人数は合計436人。

「戦後」の長い年月を経て、今だからこそ聞きたい話、今でなくては聞けない話、そして、今こそ聞かねばならない話は、まだまだどっさり埋もれてあります。この講座は、全くの個人のささやかな取り組みですが、続けていくことで、私たちが幅広く横につながり、交わし合う<言葉>が力になり、それが、私たちがしたたかに動く生きてゆくことの支えになっていけたら、と思っています。

(2017/1/3)

トークセッション <ヒロシマ・2016 連続講座> (終了分)				
日にち (13:00~16:00)	テーマ	お話ししていただいた方		
第1回 1/23 (土)	広島・原爆供養塔	堀川 恵子さん	ジャーナリスト	
第2回 2/20 (土)	広島の「黒い雨」	増田 善信さん	気象学者	
第3回 3/26 (土)	原爆で死んだ少年少女たち	関 千枝子さん	ジャーナリスト	
*第3回+ 4/2(土) フィールドワーク=靖国神社 案内人=辻子実さん				
第4回 4/16 (土)	脱走アメリカ兵	高橋 武智さん	わだつみのこえ記念館理事	
*第4回+ 12/5 (月) フィールドワーク=わだつみのこえ記念館と東大周辺の戦没者慰霊碑めぐり				
第5回 5/7 (土)	人間機雷「伏龍」	瀬口 晴義さん	東京新聞記者	
*第5回+ 5/22 (日) フィールドワーク=鎌倉・稲村ヶ崎 案内人=中田均さん				
第6回 5/21 (土)	被爆証言に向き合う ①	茶本裕里さん 宇都純子さん 井上こみちさん	被爆者・朗読・絵本作家	
第7回 6/18 (土)	韓国の被爆者たち	鈴木 賢士さん 河井 章子さん	フォトジャーナリスト 韓国被爆者を救援する市民の会会員	
第8回 7/9 (土)	父「四國五郎」を語る	四國 光さん	画家四國五郎さんの息子さん	
*第8回+ 7/10 (日) フィールドワーク=丸木美術館と吉見の百穴(地下軍需工場跡)				
第9回 7/16 (土)	広島の8・6を取材して半世紀 被爆証言に向き合う ②	岩垂 弘さん 箕牧 智之さん	ジャーナリスト 広島の被爆者	
第10回 8/27 (土)	言葉で支える平和 『日本の原爆文学』出版をめぐる秘話	石川 逸子さん 近藤 瓦志さん	詩人 叢書編集実務担当者	
第11回 9/17 (土)	ビキニの海から	豊崎 博光さん	フォトジャーナリスト	
*第11回+ 9/22(木) フィールドワーク=第五福竜丸展示館				
第12回 10/1 (土)	被爆証言に向き合う ③	渡辺 晴さん 田栗 静行さん	長崎の被爆者	
第13回 10/15 (土)	「原爆の囀」の旅	岡村 幸宣さん	原爆の囀 丸木美術館学芸員	
第14回 10/29 (土)	韓国人BC級戦犯の訴え	李 鶴来さん	泰緬鉄道に関わった「戦犯」	
第15回 11/19 (土)	私の中のヒロシマ	斉藤とも子さん	女優	
第16回 12/3 (土)	丸山眞男と原爆	川口 重雄さん	「丸山眞男手帖の会」代表	
第17回 12/17 (土)	ヒロシマから見える日本	アーサー・ビナードさん	詩人	

★場所；愛恵ビル 3F (公益財団法人 愛恵福祉支援財団) 東京都北区中里 2-6-1

→JR山手線駒込駅(東口)から徒歩2分
・または地下鉄南北線駒込駅から徒歩7分

★資料代；1,000円 (当日会場で集めます)
(会場と資料準備の関係で、事前に申込をお願いします)

★申込先；竹内 良男

電話=090-2166-8611

アドレス=qq2g2vdd@vanilla.ocn.ne.jp

